

KVK 壁付サーモスタット式シャワー・混合栓 KF112(W)G(B)・KM112(W)G (各仕様共通) 施工説明書

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。
 この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
 ■この施工説明書はKF112G仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の給表示で区分し、説明しています。

この給表示は、してはいけない「禁止」の内容です
 この給表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

<p>禁止</p> <p>水をそうらしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>	<p>禁止</p> <p>85℃より高温で使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>強制</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>強制</p> <p>取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならず、やけどをするおそれがあります。</p>
<p>強制</p> <p>ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

<p>禁止</p> <p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p>	<p>禁止</p> <p>めっき仕様の場合 めっき部品は、ぶつかり傷したりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p>	<p>禁止</p> <p>めっきシャワーヘッド仕様の場合 めっきシャワーヘッドは、公衆浴場・レジャー施設等、不特定多数の方が頻繁に利用する場所では使用しないでください。</p>
<p>注意</p> <p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、水栓本体や配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p>	<p>注意</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

取り付け前に

① 使用水压〔A=(給湯機の最低作動水压)+(配管圧力損失)〕

(1) 瞬間給湯機との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯機温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ ハンドル全開)
【比例制御式】 最低必要水压: A+50.0kPa (動水压)、最高水压: 0.75MPa (静水压)

(2) 貯湯式給湯機との組み合わせ
【給湯・給水圧力】 最低必要水压: A+50.0kPa (動水压)、最高水压: 0.75MPa (静水压)

② 吐水切換ハンドル(又は止水ハンドル)は全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。

③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。

④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。

⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。

⑥ 給湯機の給湯温度は、必要とする吐水温度より10℃以上高くしてください。なお、安全のため60℃給湯をおすすめします。

⑦ 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。

⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。

⑨ 本製品は、改造(加工及び接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。

⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図

取り付け完成図と各部の名称

KF112G仕様

KF112GB仕様

吐水切換ハンドル、吐水口、ストッパー解除ボタン、温度調節ハンドル、本体

吐水切換ハンドル、吐水口、ストッパー解除ボタン、温度調節ハンドル、本体

吐水口、ストッパー解除ボタン、温度調節ハンドル

シャワーヘッド、シャワーホース

寸法図 下記寸法は仕様によって異なる場合があります。
 ※吐水口長さは仕様によって異なります。

	KF112G仕様	KF112GB仕様
A寸法	91	83
L寸法	150	170

壁面

床面

壁面

床面

部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

分解図

シャワー仕様

寒冷地仕様

シャワー仕様

混合栓仕様

寒冷地仕様

寒冷地仕様

GB仕様

1 保護キャップ	12 パッキン	23 パッキン	34 止水カラー
2 閉鎖キャップ	13 ストレーナ	24 ストレーナ	35 止水ハンドル
3 サーモスタットカートリッジ	14 流量調節止水弁	25 整流器キャップ	36 シャワーハンガー
4 本体	15 吐水口	26 吐水口	37 シャワーヘッド
5 温度調節ハンドル	16 送り座	27 一時止水付切換弁ユニット	38 水抜き栓付流量調節止水弁
6 ピス	17 シャワーエルボ	28 切換カラー	39 ソケット
7 ストッパーリング	18 パッキン	29 ピス	
8 温度調節ハンドル	19 シャワーホース	30 吐水切換ハンドル	
9 ピス	20 水抜き栓	31 ピス	
10 キャップ	21 Xパッキン	32 キャップ	
11 逆止弁	22 吐水口	33 止水弁ユニット	

※注 ハンガーパッキンは仕様により同梱されていない場合があります。

取り付け手順

1 給水管内の清掃
配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミなどを取り除いてください。

2 ソケットと本体の取り付け
① ソケットのネジ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。
【お願い】・図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにしないようにしてください。
(シールテープの巻き数にて調節してください。)
・図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。
② ソケットと本体を接続します。
【△ 注意】締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。
しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

〈図1〉上から見た図
① 垂直にねじ込む
湯側ソケット 水側ソケット
パッキン面をそろえる 本体

〈図2〉前から見た図
湯側ソケット 水側ソケット
ハの字にする

3 シャワーホースと吐水口の接続
① シャワー仕様のみシャワーホースをシャワーエルボに接続します。
② 吐水口を吐水口接続部に接続します。
締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。
【お願い】締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。

シャワーエルボ
パッキン
① シャワーホース
Xパッキン
吐水口接続部
吐水口

4 ステッカーの貼り付け
使用方法ステッカーを見易い位置に貼り付けてください。

5 ページ

取り付け後の点検と清掃1

通水確認
【△ 注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5〜6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ストレーナ清掃のお願い
ソケットのストレーナ清掃
ソケットのストレーナにゴミ等が詰まると、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合があったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。
【△ 警告】・ストレーナの清掃は、止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
・湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

① 湯水の止水弁〔2カ所〕又は元栓をしっかりと締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
② 湯側・水側のストレーナ〔2個〕を取りはずします。
③ ゴミ・水アカ等を洗い流します。

ストレーナ
湯側ソケット
湯側止水弁
水側止水弁

清掃
ストレーナ

清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。
シャワー仕様の場合、ストレーナを締め込む時、吐水切換ハンドルを吐水口側にしてください。
混合栓仕様の場合、ストレーナを締め込む時、吐水ハンドルを吐水側にしてください。

吐水口のストレーナ清掃
吐水口のストレーナが詰まると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。
① 湯水全開で20〜30秒吐水させます。
② 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。
③ ストレーナをブラシで水洗いします。

吐水口
パッキン
ストレーナ3個
整流器キャップ
はずす

【GB仕様の場合】
吐水口
パッキン
ストレーナ2個
整流器キャップ
はずす

歯ブラシなど
ストレーナ

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

6 ページ

取り付け後の点検と清掃2

サーモスタットカートリッジの清掃方法
サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。
【△ 警告】サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
① 湯水両側の止水弁〔2カ所〕又は元栓をしっかりと締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
② 保護キャップ、閉鎖キャップを取りはずします。
③ サーモスタットカートリッジの引き輪を起し、引っ掛けて抜き取ります。
④ サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。
清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。
【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

②-1 はずす
②-2
引き抜く
④ 清掃
歯ブラシ
など
サーモスタット
カートリッジ

保護キャップ
閉鎖キャップ
引き輪
サーモスタット
カートリッジ
湯側止水弁
水側止水弁

温度調節ハンドルの設定方法
工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。
温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズレている場合、温度調節ハンドルをばめ直してください。
➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

流量の調節方法
流量の調節は右記の方法で行ってください。

湯側止水弁
あける
しめる
水側止水弁
あける
しめる

7 ページ

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	吐水切換ハンドルは止水位置に合っていますか 止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません	吐水切換ハンドルを止水位置に合わせ	取扱説明書4ページ 「吐水切換方法」
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか ストレーナにゴミ等が詰まっていますか	止水弁を開ける ストレーナを清掃する	7ページ 「流量の調節方法」 6ページ 「ストレーナ清掃のお願い」
(シャワーが弱い)	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか ストレーナは凍っていませんか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする ストレーナにぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか 必要とする吐水温度より、給湯機の給湯温度を10℃以上上げる	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
温度調節がうまくできない	給湯機から十分な湯がきていますか ストレーナにゴミ等が詰まっていますか 温度調節ハンドルの設定は合っていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する ストレーナを清掃する 温度調節ハンドルの設定を確認する	— 6ページ 「ストレーナ清掃のお願い」 取扱説明書6ページ 「温度調節ハンドルの設定方法」
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等が詰まっていますか	ストレーナを清掃する	6ページ 「ストレーナ清掃のお願い」
シャワーの吐水状態が不安定(シャワー仕様のみ)	熱源の温度を下げ(約60℃)、水側止水弁をしぼるにより、改善される場合があります	—	—

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】
【△ 注意】 修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ